

THiNKナゴヤ 提言のポイント

— 人がつながり、名古屋の未来をつくる。 —

名古屋の強みを活かしながら、若者に選ばれ、稼げて、暮らしやすい都市を目指す提言です。

① 名古屋の強み

- 歴史・文化
- ものづくり
- 暮らしやすさ



② 今の課題

- 若者の流出
- にぎわい不足
- 財政の硬直化



③ これからの行動

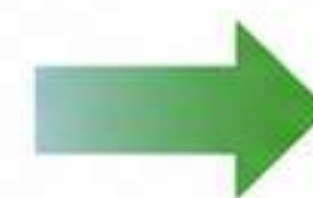
- 文化
- 産業
- まちづくり
- 教育
- 行政改革



強み



課題



行動

名古屋が向き合う4つの課題

— なぜ今、変化が必要なのか —

名古屋には強みがありますが、このままでは将来の活力が弱まるおそれがあります。

① 若者・子育て世代の流出

20～30代が東京へ流出し、
子育て世代も市外へ移っています。
将来の担い手が減る
大きな課題です。



② 仕事の拠点力の停滞

事業所や働く人の集まりが
伸び悩み、昼間のにぎわいが
弱くなっています。



③ 観光・交流の伸び悩み

都市の規模のわりに来訪者や
回遊が少なく、交流や消費の
チャンスを活かして
いません。



④ 財政の硬直化

福祉費や人件費が増え、
未来への投資に使える
お金が限られています。



このまま
では…



人が減る



まちの元気が弱る



未来への投資が
しにくい

未来に向けた5つの提案

—— 名古屋をもっと魅力的にする行動 ——

THiNKナゴヤは、名古屋の未来のために次の5つを大切だと考えています。



① 文化の魅力を育てる

名古屋城や熱田神宮などを
つなぎ、歩いて楽しい回遊と
夜のにぎわいをつくる。



② 稼げる産業を増やす

高付加価値産業や本社機能、
AI・ロボティクスを育て、
働くチャンスを広げる。



③ まちの資産を使いこなす

港・運河・三の丸など、今ある
資産を活かして水辺や
公共空間を魅力的にする。



④ 子どもから大人まで育つまちへ

「産むなら・学ぶなら・働くなら
名古屋」を目指し、教育と
人材育成に投資する。



⑤ 未来に投資できる行政へ

税源を育て、データと対話を
大切にしながら、実行力のある
市政に変えていく。



目指す姿：世界から見ても魅力があり、住む人にも誇りが持てる名古屋へ